

【子どもたちとの関わりの中で大切にしていること】

園で過ごす子どもたちの毎日は、とてもゆったりとした時間の流れの中にあります。自分でやってみようと手を伸ばしたり、同じ遊びやお仕事を何度もくり返したり、ふとした瞬間に安心した表情を見せてくれたり…。ひとつひとつは小さな姿ですが、その中にたくさんの成長が詰まっています。私たちはできるだけ手や口を出しすぎず、子どもたちが「自分でやってみたい!」と思う気持ちを大切にしています。うまくいかずに立ち止まるときも「大丈夫だよ」とそっと寄り添いながら、子どもたち自身が前に進もうとする力を信じて見守っています。



くり返す姿を見守っています

同じ遊びやお仕事を、毎日のように楽しむ姿があります。何度も同じことをするのは、今の子どもたちにとってそれが心地よく、必要な時間だからです。静かに集中している背中を見るたびに、「今、心が満たされているんだな。」と感じます。園では、その大切な時間を邪魔しないよう、そっと見守ることを心がけています。

「できた」よりも「やってみよう」

靴を履こうとしたり、袖に手を通そうとしたり、「自分で」と言わんばかりの表情を見せてくれることが増えてきました。時間はかかりますが、その一生懸命な姿がとても愛おしく感じます。うまくできたときも、できなかったときも、「やってみたね。」と気持ちを受け止めることで、子どもたちは少しずつ自信をつけていきます。



気持のやりとりを大切にしています

まだ言葉にならない思いも、表情や声、しぐさの中にたくさん詰まっています。「そうだったんだね。」「うれしかったね。」と、大人が気持ちを代弁することで子どもたちは安心し、少しずつ自分の思いを伝えられるようになっていきます。泣いたり怒ったりする姿も、成長の大切な一場面として受け止めています。



ご家庭と一緒に子どもたちを見守りたいと思っています

園での様子と、ご家庭での様子はつながっています。「最近、こんなことがありました。」「お家では、こんな姿が見られます。」など、どんな小さなことでも教えていただけると嬉しいです♪



子どもたちはそれぞれのペースで、たくさんの「はじめて」に出会っています。自分でやってみようとする気持ち、人と関わろうとする姿、集中して取り組む時間。これからも、子どもたち一人ひとりの育ちを大切にしながら、温かく見守っていきたいと思います。